

早期施工  
が重要

# 市販殺虫剤を用いた 簡易なナラ枯れ対策について

- ・5月頃、カシナガの穿孔が確認されたら速やかに殺虫剤で対策
- ・早期施工することで、ナラ菌の広がりを抑えて、枯損防止が期待  
(穿孔から2週間以内が望ましい)

3つの  
ポイント

## 1 時機を逸しない

※カシナガは5月頃から移動するため定期的な巡視が望ましい

## 2 見つけたらすぐに対処

## 3 根本付近の穿孔は見えにくいので姿勢を低くして良く確認

<その他注意事項>

- ・カシノナガキクイムシに対し農薬登録済の製品を使うこと
- ・穴から液が出るまで噴霧
- ・吹き返しが顔にかからないよう注意
- ・ナラ菌はあまり広がらない菌であるため、早期に殺虫し虫の移動を抑えることでナラ菌の広がりを抑えることが期待
- ・試験結果によると噴霧箇所はほぼ100%殺虫可能

※ナラ枯れ：カシノナガキクイムシが媒介してコナラやミズナラ類を枯らす樹木の伝染病

栃木県 環境森林部

森林整備課 森づくり担当